

(講演録)

ー広島大学公開シンポジウムー

## 地域の挑戦 新しい価値創造と社会課題解決

皆さん、こんにちは。広島大学客員教授の日下智晴です。



大学の前身となる白島学校が創立された1874年から1949年に新制広島大学が誕生するまで75年、新生広島大学から今年までが75年。1874年から数えますと、今年でちょうど150周年に当たっております。そのため、今年には広島大学創立75+75周年記念式典、記念事業などをさまざまな形で開催しておりますが、本シンポジウムはその1つとしています。

経済学部附属地域経済システム研究センターでは、これまでも地域経済、地域社会に関するセミナーやシンポジウムを数多く開催してきましたが、昨年に続き今年も「地域の挑戦」をテーマにしました。私は今年地方創生の専門誌『日経グローバル』に「地域経済保持システムの要諦」を半年間連載しましたので、それを冊子にしたものを本日皆さんにお配りしました。いわゆる「産官学金」と言われる地域のあらゆるステークホルダーが、お互いに連携し合って持続可能な地域をつくるのが大切である、という内容です。

本日のシンポジウムでは、それらのことを踏まえた登壇者の皆様をお招きしております。

まず、事業者として多くのステークホルダーと関係を構築してこられた比嘉梨香さんに沖縄からお越しいただきました。かつて私が金融庁に在籍していた時に、沖縄でのシンポジウムで一緒し、その後広島大学でも講義をいただいたことがあります。

続くパネルディスカッション①では、地域企業と地域金融機関がどのような関係を構築すべきなのかという観点で、「産」、「金」のお2人に議論していただきたいと思います。

パネルディスカッションの②では、ソーシャルビジネスがいかに地域を盛り上げていくことができるかというテーマを採り上げたいと思います。

それでは基調講演を、比嘉さまよろしく願いいたします。